

都内企業の景況感

— 第128回企業動向調査結果 平成29年10月実施 —



◎ 都内中小企業の景況は回復、先行きも高い水準が続く見通し。

1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の12.5から今回23.9へと、11.4ポイント上昇し、回復している。先行きについて同DI*は、2.1ポイントの低下ながら21.8と高い水準が続く見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	12.5	⇒	23.9 (前回予想 17.3)	⇒	21.8
2. 売上高DI*は、前回の8.6から今回17.9へと9.3ポイント上昇、経常利益DI*は、5.8から16.2へ10.4ポイント上昇した。先行きについては、売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	8.6	⇒	17.9 (前回予想 14.4)	⇒	23.1
	経常利益 DI*	5.8	⇒	16.2 (前回予想 9.7)	⇒	17.2
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回7.3と2.9ポイント上昇、仕入れ価格DIは、27.0と5.3ポイント上昇した。先行きについては、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。	販売価格 DI	4.4	⇒	7.3	⇒	8.1
	仕入れ価格 DI	21.7	⇒	27.0	⇒	29.6
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の5.3から今回8.0へと2.7ポイント上昇し、運転資金需要DI*は、前回の7.5から今回8.2へと0.7ポイント上昇した。先行きについては、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-6.9	⇒	-4.2	⇒	...
	設備資金需要 DI*	5.3	⇒	8.0	⇒	14.3
5. 金融機関借入難易感DIは、今回24.7と1.2ポイント低下、資金繰りDIは、今回11.6と0.5ポイント低下した。	運転資金需要 DI*	7.5	⇒	8.2	⇒	10.1
	金融機関借入 難易感 DI	25.9	⇒	24.7	⇒	...
6. 経営上の問題点の第1位は、前回同様「労働力不足・求人難」でシェア18.0%、第2位は、前回3位の「人材難」が16.2%、第3位は、前回2位の「同業他社との競合」が14.8%、第4位は、「売上不振」で9.1%、第5位は、「人件費等経費の増加」で8.0%、第6位は、「原材料高・仕入れ価格高」で7.1%、第7位は「合理化不足」で4.9%、第8位は、「取引先からの値引き要請」4.5%であった。	資金繰り DI	12.1	⇒	11.6	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	労働力不足・求人難	17.1	⇒	18.0		
	人材難	15.7	⇒	16.2		
	同業他社との競合	15.9	⇒	14.8		
	売上不振	9.0	⇒	9.1		
	人件費等経費の増加	7.6	⇒	8.0		
	原材料高・仕入れ価格高	6.6	⇒	7.1		
	合理化不足	4.9	⇒	4.9		
	取引先からの値引き要請	4.7	⇒	4.5		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回 8.1、今回 16.5、先行き 19.1)で判断したもの。前回は「晴れ時々曇り」今回は「晴れ」、先行きは「晴れ」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。

東京都民銀行(頭取:坂本 隆)は、東京圏の中小・中堅企業を主な対象に年3回、景況調査を実施しております。このほど、平成29年6月～平成29年10月の実績見込みによる前年同時期との比較、および調査時点以降6カ月の見通しについての「第128回企業動向調査」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。

今回調査の概要:

1. 調査対象企業数	920	3. 回答企業の構成比		
2. 回答企業数	277		(件数)	(%構成比)
	(回収率 30.1%)	製造業	113	40.8
		非製造業	164	59.2
		合計	277	100.0
		従業員 30人以下	118	42.6
		従業員 31～99人	90	32.5
		従業員 100人以上	69	24.9

1. 自社業況判断、売上、利益

(1) 自社業況判断DI

自社業況判断DI*は、前回の12.5から、今回23.9と11.4ポイント上昇した。中小企業の景況は回復している。

業種別で見ると、製造業のDI*は20.1と7.4ポイント上昇し、非製造業のDI*は26.3と13.4ポイント上昇した。

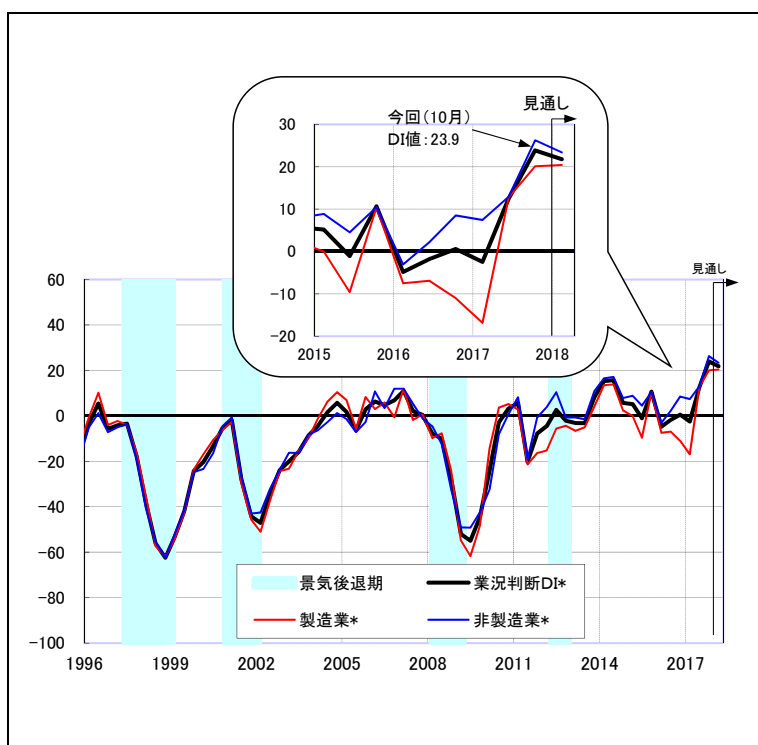
製造業の個別14業種のなかでは、電気機器など6業種のDIが上昇した。

非製造業の個別7業種のなかでは、建設など3業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)については、製造業はほぼ横這い、非製造業は低下する見通し。

(図1) 業況判断DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	-2.4	12.5	23.9	21.8
製造業	-16.9	12.7	20.1	20.4
非製造業	7.4	12.9	26.3	23.4



(2) 売上高DI

売上高DI*は、前回の 8.6 から今回、17.9 へと9.3ポイント上昇した。

業種別で見ると、製造業のDI*は今回、11.6と前回から1.6ポイント低下、非製造業のDI*は22.3と17.6ポイント上昇した。

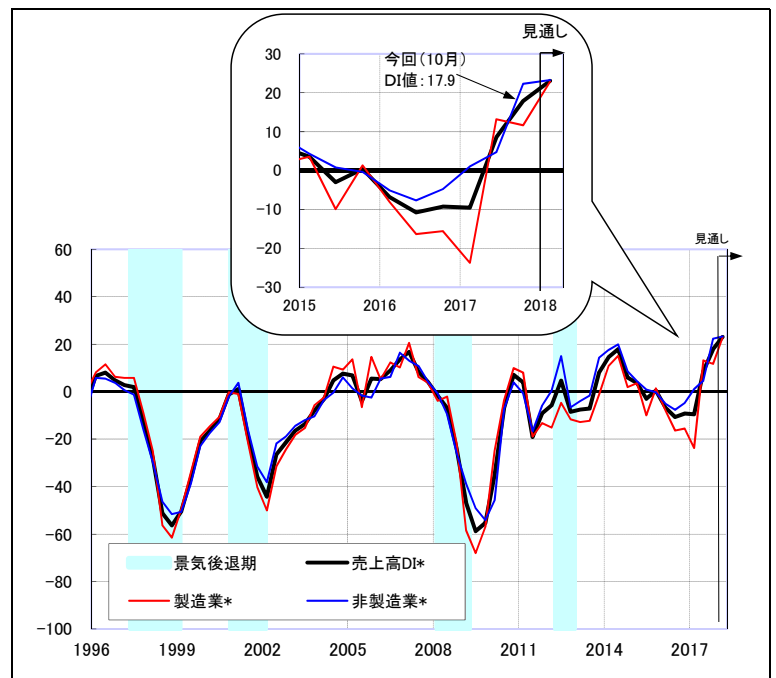
製造業の個別14業種のなかでは、印刷・同関連など7業種のDIが低下した。

非製造業の個別7業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)については、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図2) 売上高DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	-9.5	8.6	17.9	23.1
製造業	-23.8	13.2	11.6	22.9
非製造業	1.1	4.7	22.3	23.3



(3) 経常利益DI

経常利益DI*は、今回 16.2 と、前回の 5.8 から 10.4ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDI*は今回10.2と前回から1.0ポイント低下、非製造業のDI*は今回20.4と18.3ポイント上昇した。

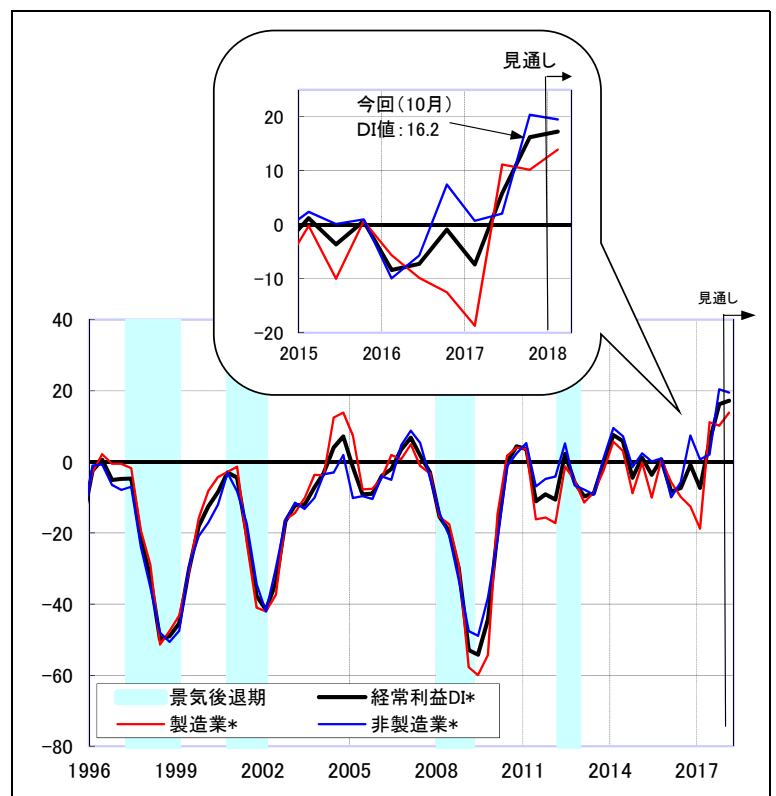
製造業の個別14業種のなかでは、電気機器など7業種のDIが低下した。

非製造業の個別業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行き(今後6ヵ月間)DI*は、製造業は上昇、非製造業は低下する見通し。

(図3) 経常利益DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	-7.3	5.8	16.2	17.2
製造業	-18.7	11.2	10.2	13.9
非製造業	0.7	2.1	20.4	19.5



2. その他の指標

(4) 販売価格

販売価格DIは今回 7.3 で、前回の 4.4 から 2.9 ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDIは 0.9 と前回から 2.7 ポイント上昇、非製造業のDIは 11.9 と 3.2 ポイント上昇した。

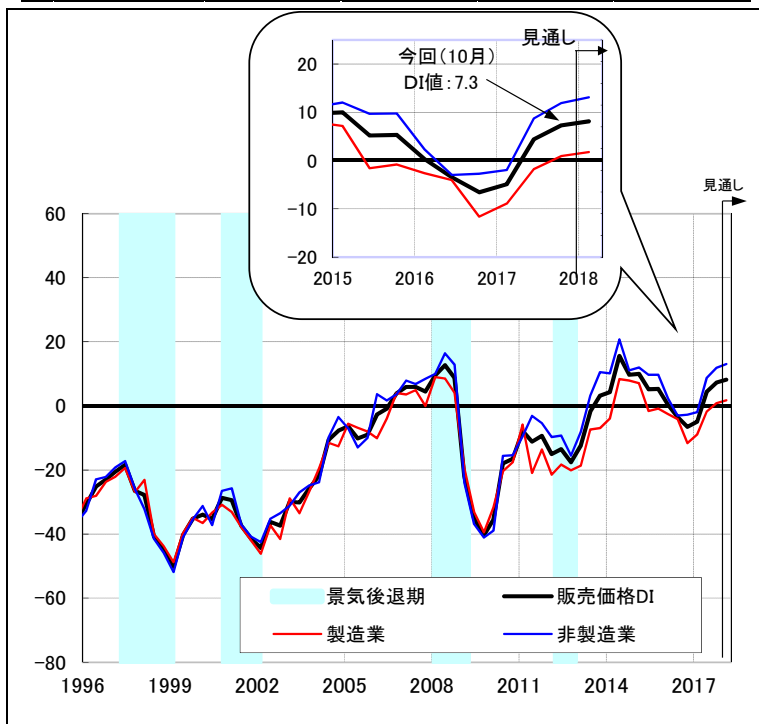
製造業の個別 14 業種のなかでは食料品など 5 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、小売など 5 業種のDIが上昇した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図4) 販売価格DIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	-4.9	4.4	7.3	8.1
製造業	-8.9	-1.8	0.9	1.8
非製造業	-1.9	8.7	11.9	13.1



(5) 仕入れ価格

仕入れ価格DIは、今回 27.0 と前回の 21.7 から 5.3 ポイント上昇した。

業種別では、製造業のDIは今回 30.9 と 10.4 ポイント上昇し、非製造業のDIは 24.2 と 1.7 ポイント上昇した。

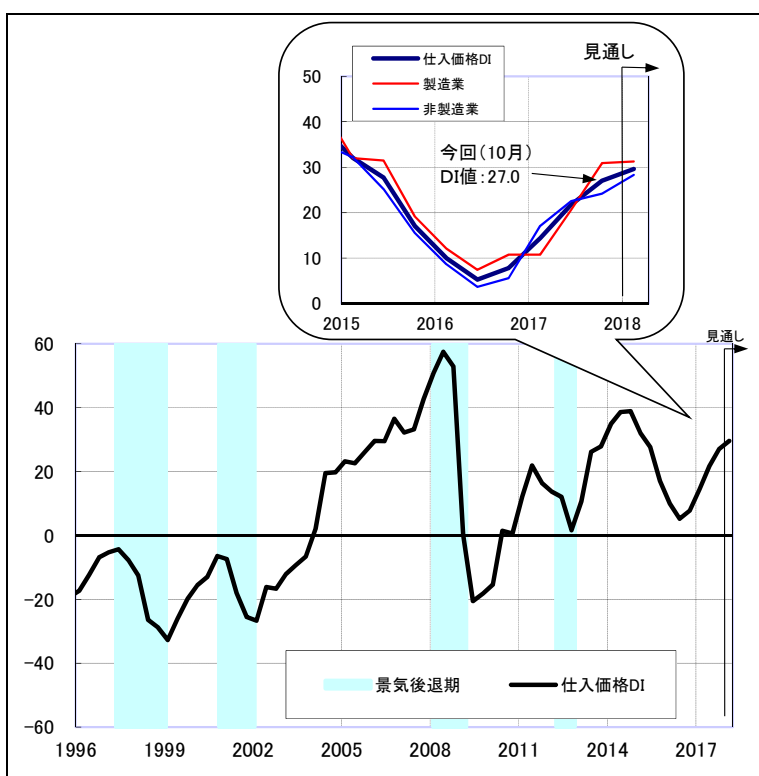
製造業の個別 14 業種のなかでは、金属製品など 8 業種のDIが上昇した。

非製造業の個別 7 業種のなかでは、運輸など 5 業種のDIが上昇した。

先行きDIは、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図5) 仕入れ価格DIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	14.4	21.7	27.0	29.6
製造業	10.7	20.5	30.9	31.3
非製造業	17.1	22.5	24.2	28.3



(6) 製商品在庫

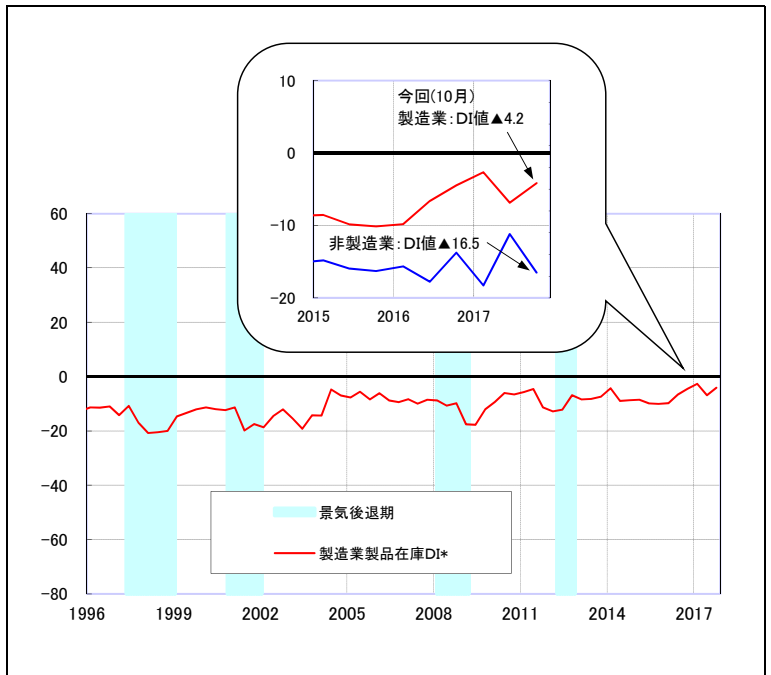
製造業製品在庫DI*は、今回-4.2と前回の-6.9から2.7ポイント上昇し、非製造業商品在庫DI*は、今回-16.5と前回の-11.2から5.3ポイント低下した。

(注)DI値*は、「不足」-「過剰」

(注)「非製造業」は、卸売業と小売業の合計

(図6)製品在庫DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)
製造業	-2.6	-6.9	-4.2
非製造業	-18.3	-11.2	-16.5



(7) 設備資金需要

設備資金需要DI*は、今回8.0と前回の5.3から2.7ポイント上昇した。

業種別では、製造業DI*は今回4.1と前より6.2ポイント低下、非製造業DI*は11.0と9.4ポイント上昇した。

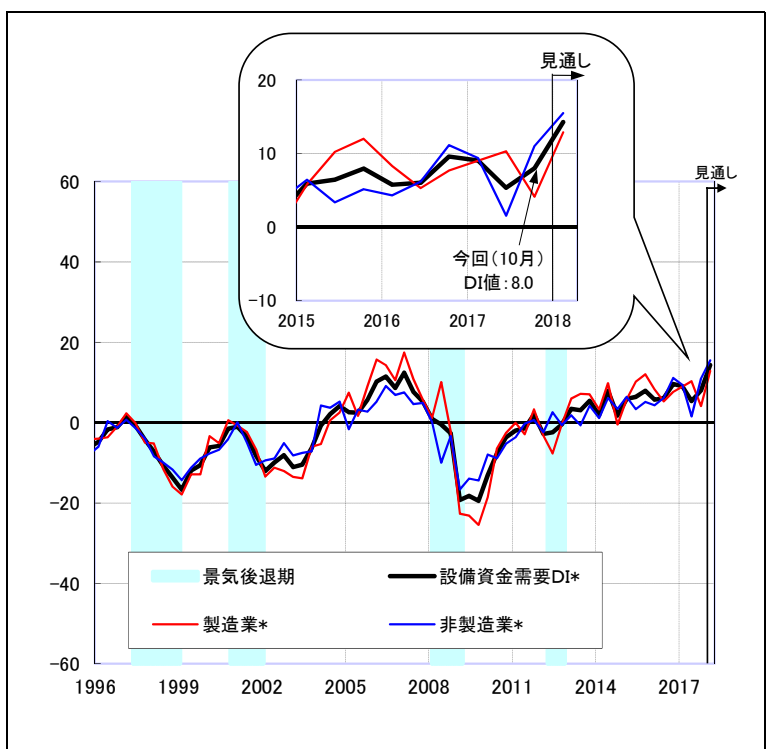
製造業の個別14業種のなかでは、一般機械など8業種のDIが低下した。

非製造業の個別7業種のなかでは、卸売など4業種のDIが上昇した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図7)設備資金需要DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	9.0	5.3	8.0	14.3
製造業	9.0	10.3	4.1	12.9
非製造業	9.4	1.6	11.0	15.5



(8) 運転資金需要

運転資金需要DI*は、今回 8.2 と前回の 7.5 から 0.7 ポイント上昇した。

業種別では、製造業DI*は今回 8.2 と前回より 2.8 ポイント低下、非製造業DI*は 7.3 と 2.2 ポイント上昇した。

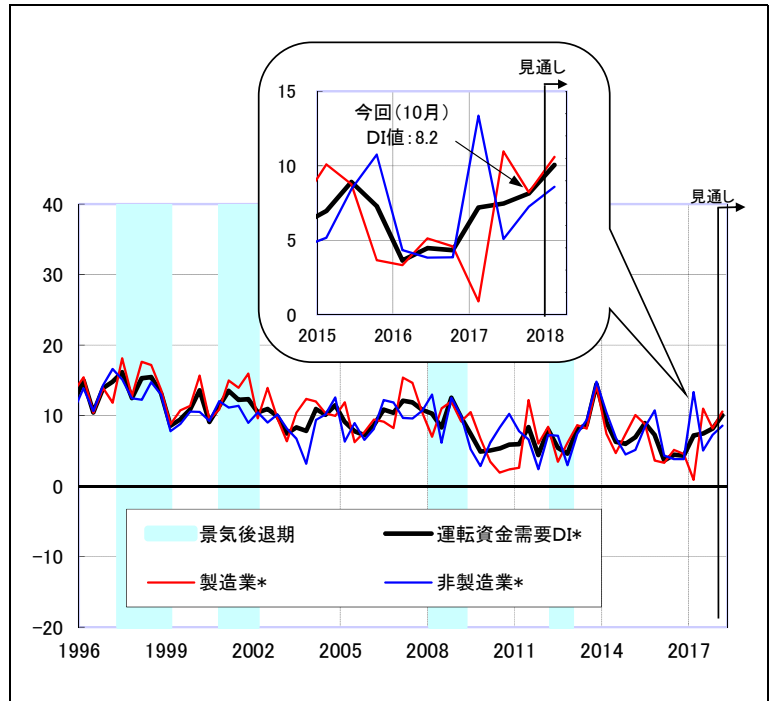
製造業の個別 14 業種のなかでは、その他製造業など 5 業種のDIが低下した。

非製造業では建設など 2 業種のDIが上昇した。

先行きDI*は、製造業、非製造業ともに上昇する見通し。

(図8) 運転資金需要DI*の推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)	見通し
全産業	7.2	7.5	8.2	10.1
製造業	0.9	11.0	8.2	10.6
非製造業	13.4	5.1	7.3	8.6



(9) 金融機関借入難易感

金融機関借入難易感DIは、今回 24.7 で前回の 25.9 から 1.2 ポイント低下した。

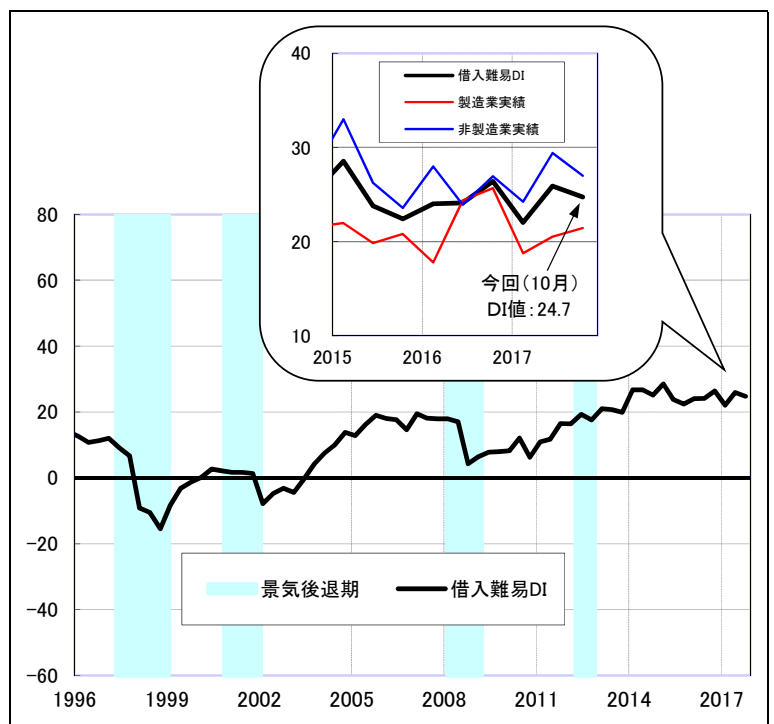
業種別では、製造業のDIは、今回 21.4 で前回から 0.9 ポイント上昇、非製造業は 27.0 と 2.4 ポイント低下した。

製造業のなかでは、電気機器など 5 業種のDIが上昇した。

非製造業の中では、情報通信など 3 業種のDIが低下した。

(図9) 金融機関借入難易感DIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)
全産業	22.0	25.9	24.7
製造業	18.8	20.5	21.4
非製造業	24.2	29.4	27.0



(10) 資金繰り

資金繰りDIは今回 11.6 と、前回の 12.1 から 0.5 ポイント低下した。

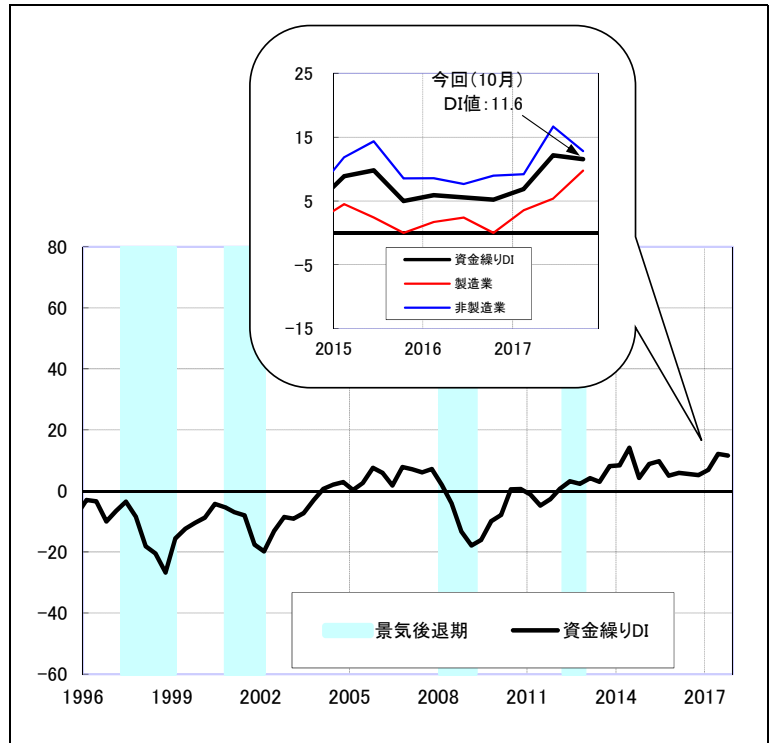
業種別では、製造業のDIは、今回 9.7 と 4.3 ポイント上昇、非製造業のDIは、今回 12.8 と 3.9 ポイント低下した。

製造業のなかでは、紙・紙加工品など 6 業種のDIが上昇した。

非製造業の中では、サービスなど 4 業種のDIが低下した。

(図10) 資金繰りDIの推移

	前々回 (2月)	前回 (6月)	今回 (10月)
全産業	6.9	12.1	11.6
製造業	3.5	5.4	9.7
非製造業	9.2	16.7	12.8

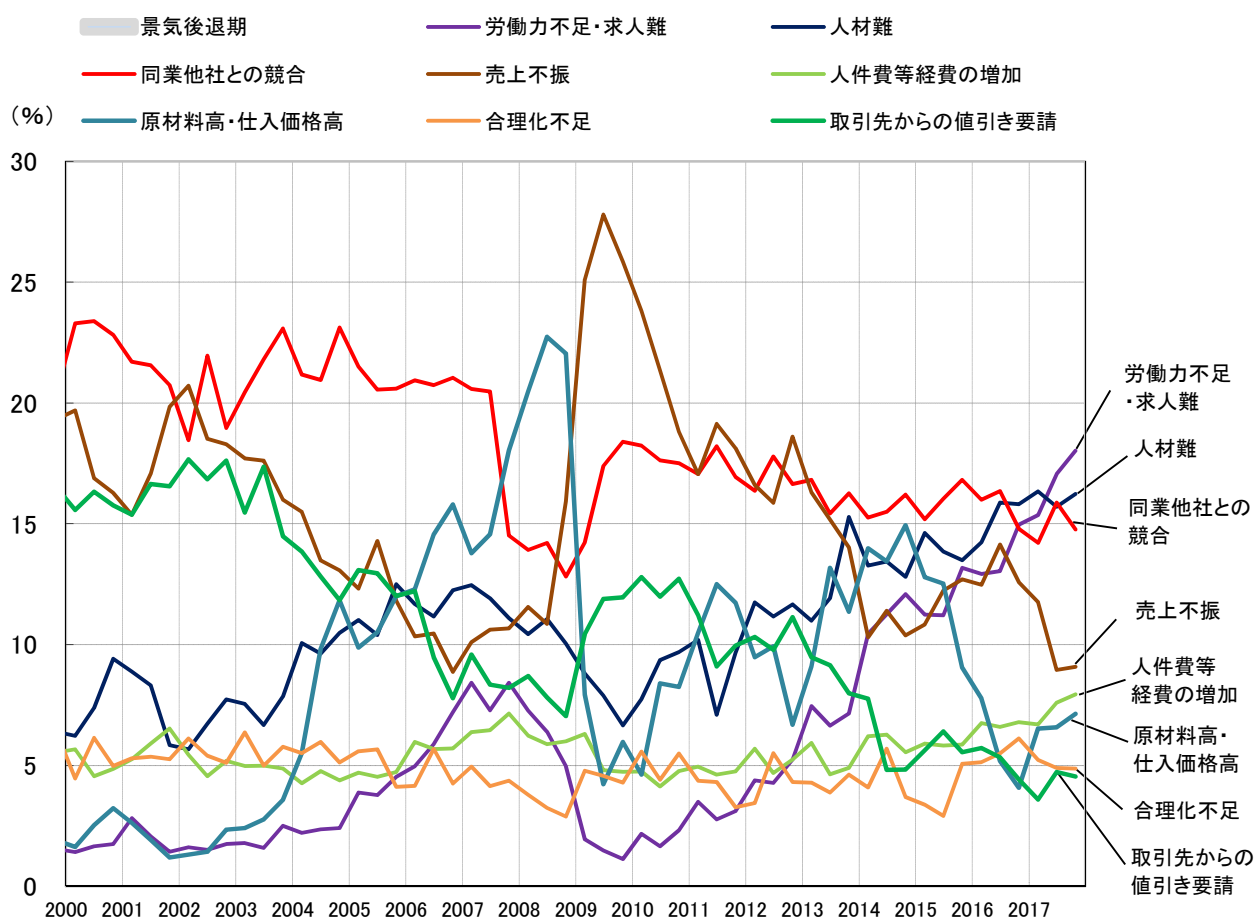


3. 経営上の問題点

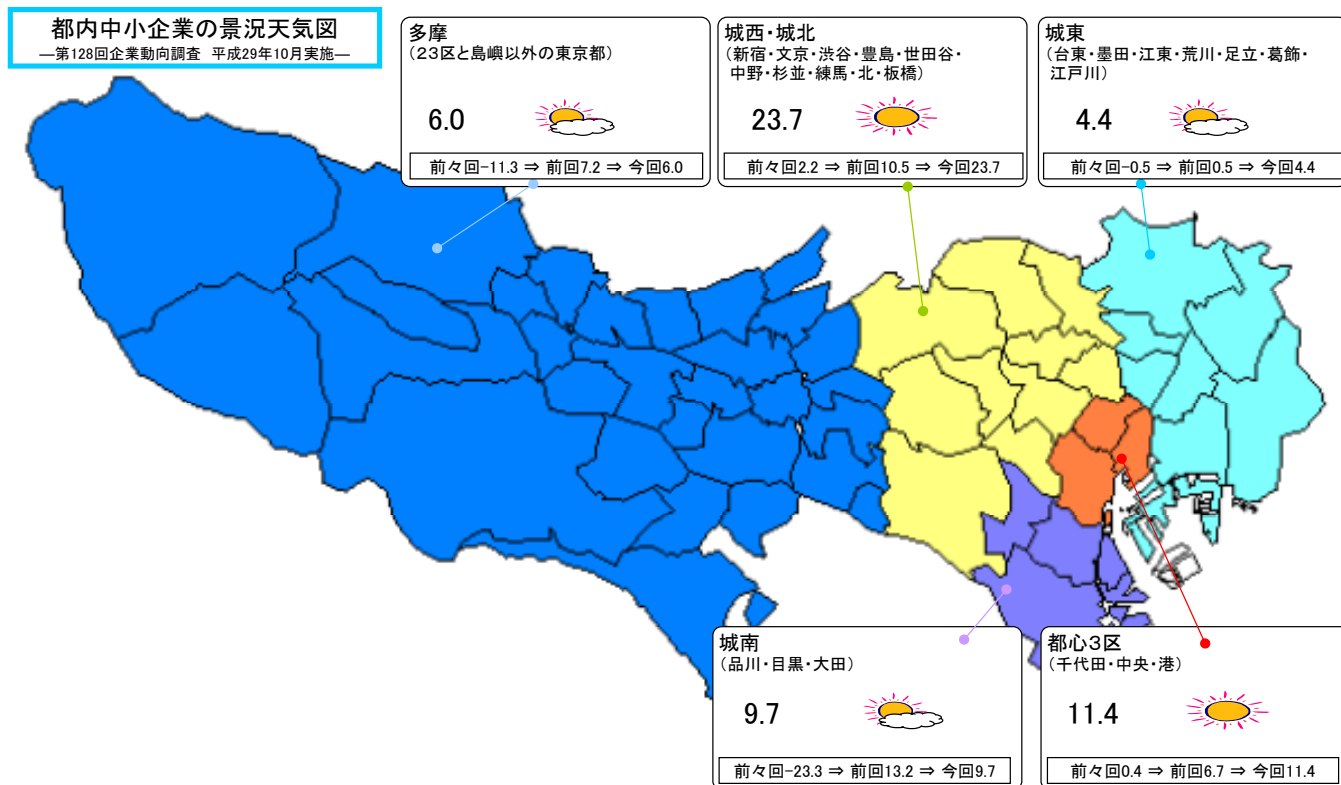
* 下図は、自社の経営上特に障害となっている事項として複数の○印をつけていただいたアンケート回答総数を100%として、それぞれの問題点が全体の何%を占めるか構成比を算出し、2000年～最近時点までをグラフで示したものです。

- 第1位は、「労働力不足・求人難」で構成比は18.0%と、前回の17.1%から0.9ポイント増加した。
- 第2位は、「人材難」で16.2%と、前回の15.7%から0.5ポイント増加した。
- 第3位は、「同業他社との競争」で、14.8%と、前回の15.9%から1.1ポイント減少した。
- 第4位は、「売上不振」で、9.1%と前回の9.0%からほぼ横這いであった。
- 第5位は、「人件費等経費の増加」で、前回の7.6%から0.4ポイント増加し8.0%となった。
- 第6位は、「原材料高・仕入価格高」で、7.1%と前回の6.6%から0.5ポイント増加した。
- 第7位は、「合理化不足」で4.9%、第8位は、「取引先からの値引き要請」の4.5%であった

(図11) 経営上特に障害となっている事項。複数回答の%構成比の推移



4. 都内中小企業の景況天気図（参考）



表は、都内経済のアンケート調査に基づいた当行独自のものです。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨

- 上記景況天気図は、第98回(2007年10月)調査より、企業動向調査アンケート票に、所在地の項目を追加したものを利用して、上記6つの地域ごとに、①自社業況判断DI、②売上高DI、③経常利益DI、④設備資金需要DIの原数値を平均した数値を基に判断した、当行独自のものです。

本件に関するお問い合わせ先：
 東京都民銀行 コンサルティング事業部
 ホームページ URL <http://www.tominbank.co.jp>
 <担当：(株)きらぼしコンサルティング 辻川>
 TEL： 03(5280)0080(代)